

広報 心し

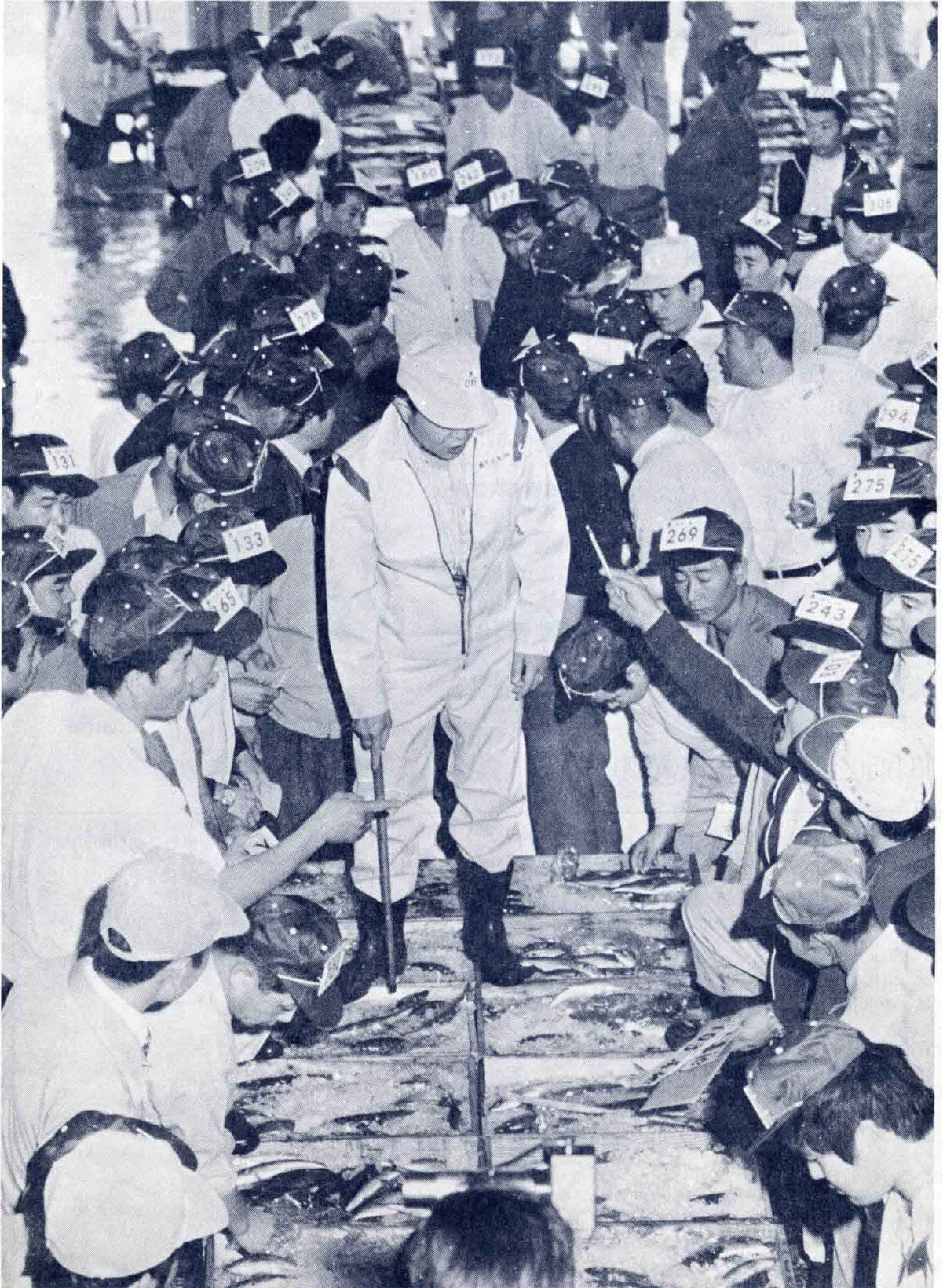
NO.213

発行・富士市役所
富士市永田61-1

編集・
企画調整部広報広聴課
【毎月5日と25日発行】

51.10.5 発行

● 広報紙は早く配布してください ●



【富士市公設地方卸売市場が9月27日にオープンし
掛声もいさましく初せりが行われました―関連記事6ページ】

目標を達成した

二酸化硫黄環境濃度を年平均値0.03 PPM以下に…

大気中における二酸化硫黄環境濃度を、昭和50年度には、年平均値0.03 PPM以下にしようと進めてきた富士503計画の結果が、このほど、環境部公害課でまとまりました。それによると、市内9カ所の測定局の測定結果から目標値が完全に達成されたことがわかりました。

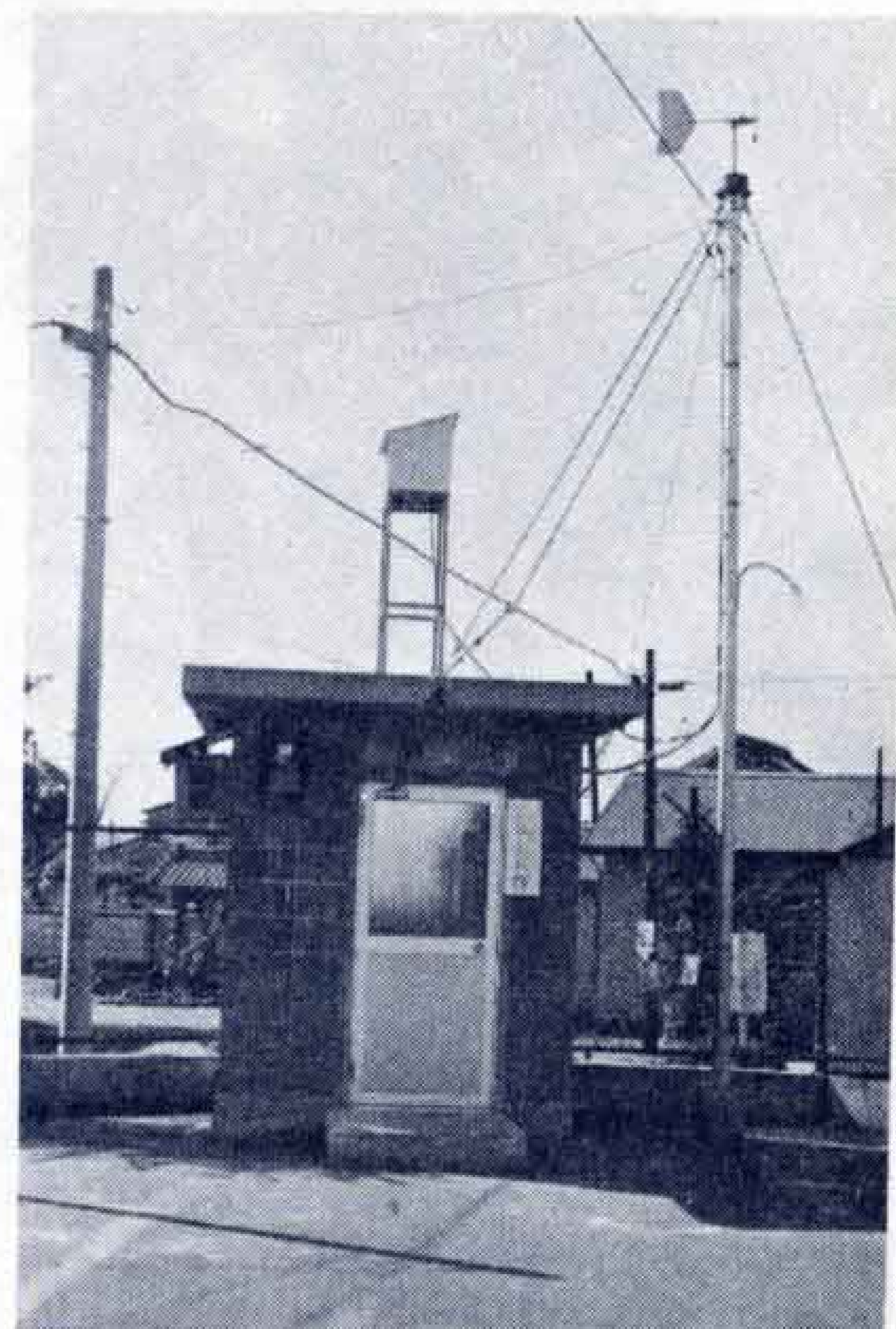
規制の強化や行政指導で徐々に成果

市内の二酸化硫黄環境濃度は、昭和45年度から46年度を境にほぼ横ばい、あるいは、次第に減少傾向を示し、昭和50年度には目標値である年平均値0.03 PPM以下を完全に達成しました。これは、法による規制の強化と行政指導による良質燃料への切り替え等の低硫黄化対策、排煙脱硫等発生源の防止施設整備等が徐々に成果をあげてきているものと思われます。しかしながら、一方においては、長かった戦後最大の不況下において燃焼施設の稼働率が落ちていたことや、今泉～比奈を結ぶ地区のような発生源混在地区で、しかも風

向きによって煙源の影響を受けやすい地区では、0.1 PPM以上の高濃度値が季節的に現われることは、今後の課題として考慮する必要があります。

市内公害被害者実認定者数 (S51.9末現在)

- 公害健康被害補償法
男 360人、女 308人
計 668人
- 市公害健康被害補償条例
男 129人、女 104人
計 233人



【市内9カ所に設置されている測定局】

昭和50年度二酸化硫黄測定結果

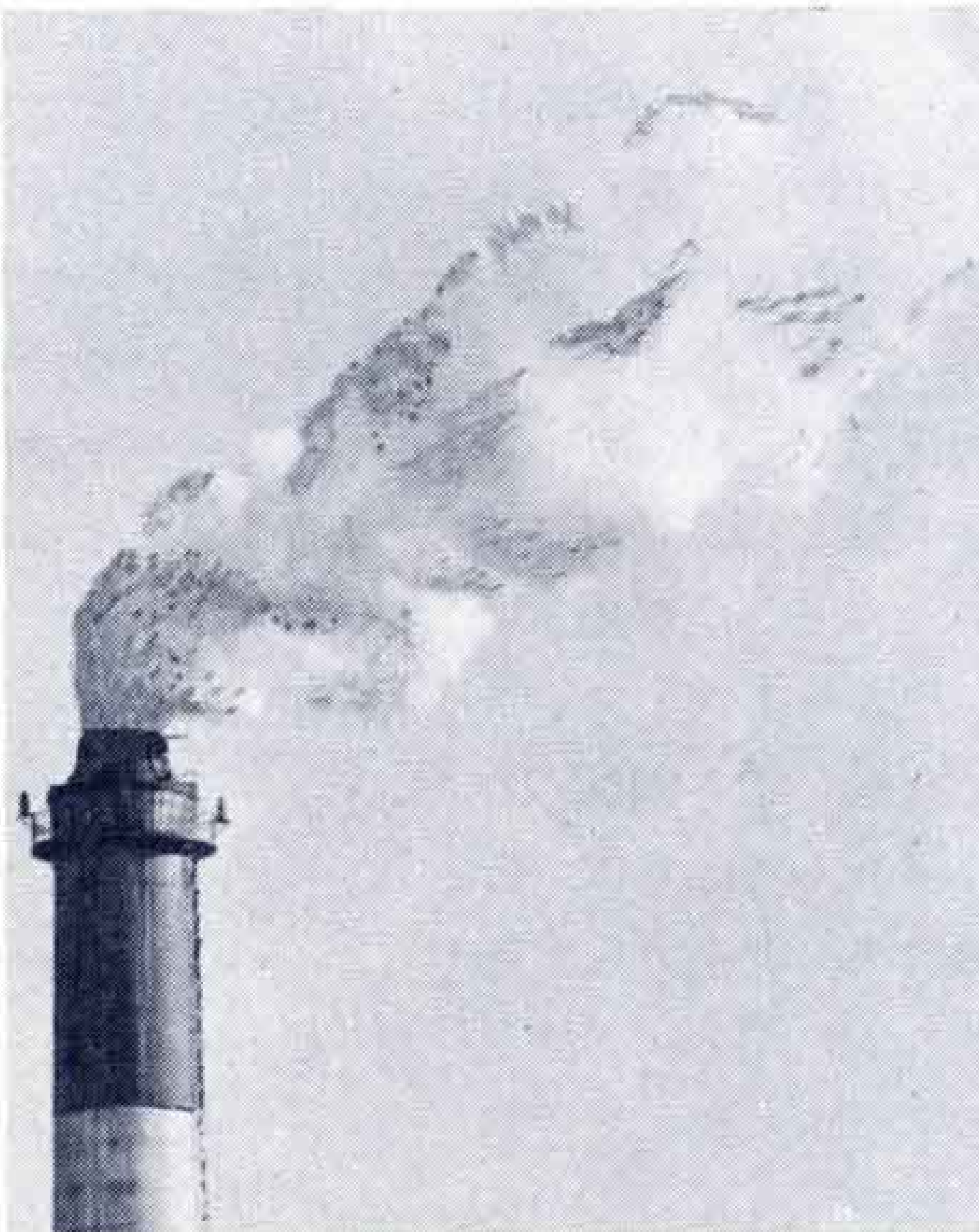
測定局名	測定日数	測定時間	年平均値	1時間値が0.1PPMをこえた時間数と割合		日平均値が0.04PPMをこえた日数と割合		1時間値の最高値	日平均値の2%除外値	日平均値0.04PPMをこえた日数が2日以上連続した事の有無	環境基準の長期的評価による日平均値0.04PPMをこえた日数
	(日)	(時間)	(PPM)	(時間)	(%)	(日)	(%)	(PPM)	(PPM)	(有×無○)	(日)
富士保健所	316	7677	0.025	0	0	1	0.3	0.07	0.037	○	0
吉原第3中学校	308	7485	0.028	7	0.1	19	6.2	0.13	0.043	×	16
勤労青少年会館	318	7788	0.020	1	0	6	1.9	0.11	0.039	×	4
元吉原中学校	337	8106	0.024	0	0	2	0.6	0.08	0.037	○	0
富士中学校	268	6914	0.024	0	0	4	1.5	0.09	0.040	○	0
鷹岡公民館	308	7764	0.021	1	0	0	0	0.10	0.034	○	0
大淵中学校	314	7917	0.017	0	0	0	0	0.07	0.027	○	0
今泉小学校	309	7710	0.030	2	0	13	4.2	0.11	0.041	×	12
伝法公民館	322	8077	0.022	0	0	0	0	0.08	0.032	○	0

富士503計画

季節によってもかわる大気濃度

それでは、測定局による測定結果から季節的な傾向を見てみましょう

- 勤労青少年会館と大淵中学校では、夏季に高くなる傾向を示しています。
- 元吉原中学校では、海岸部に位置するため南西風が最も多く吹く7月～8月ころには大淵中学校程度の濃度にさがります。
- 今泉小学校、伝法公民館は、周囲に寄与煙源が



【風向きによって濃度かわる】

分布しているため、年間を通して季節的变化はあまり見られません

- 一般に市内の北部にある測定局では、その背後に寄与煙源がないため冬になると濃度がかなり低くなるが、吉原第3中学校についてはその濃度が0.019 PPM～0.022 PPMと他の測定局に比べて高くなります。こ

れは冬に吹く北西風が海岸線で海からの風に突き上げられ、愛鷹山にははばまれて旋回し、汚染物質がその風に乗ってくる影響とされます。

昭和50年度中の燃料使用量とSO₂量

C重油	1,015.510トン
A・B重油	43.920トン
白灯油	75.628トン
ガス	31.361トン
石炭	8.645トン
黒液	786.903トン
SO ₂ (二酸化硫黄) 11.119トン	

鷹岡公民館など3測定局が

日平均値0.04PPM以下を達成

次に、二酸化硫黄の環境基準の適否状況について見ますと、日平均値が0.04 PPM以下を達成した測定局は鷹岡公民館と大淵中学校、伝法公民館の3測定局ですが、全般的に見ても過去の減少傾向に比べ、各測定局とも著しい改善の結果があらわ

れています。特に地形条件等から問題視される今泉小学校と吉原第3中学校でも0.04 PPMをこえた日数が昭和49年度にはそれぞれ173日、89日あったものが、昭和50年度には、それぞれ13日、19日と大巾に減っています。

更に綿密な削減計画を推進

以上のように、市内における大気環境の汚染状態も明らかに改善の方向に向っていますが、汚染物質の排出源である工場や事業所の立地条件操業状況また、起伏のある気象条件

などから見て二酸化硫黄対策は、更に綿密な削減計画を総合的見地から推し進めるとともに、大気環境の常時監視を一段と強化する必要があるといえましょう。



【大気汚染の測定結果はこの測定装置からテレメーターで市庁舎公害課へ】

田子の浦港の「ヘドロ」処理事業を近く再開

富士市内の工場、事業所などの汚水は、工場専用排水路の岳南排水路や沼川及び潤井川を経て大部分が田子の浦港に流れ込んでいます。この汚水の中に含まれる浮遊物質(SS)の一部が、田子の浦港内に沈澱たい積して汚泥(ヘドロ)が形成されます。

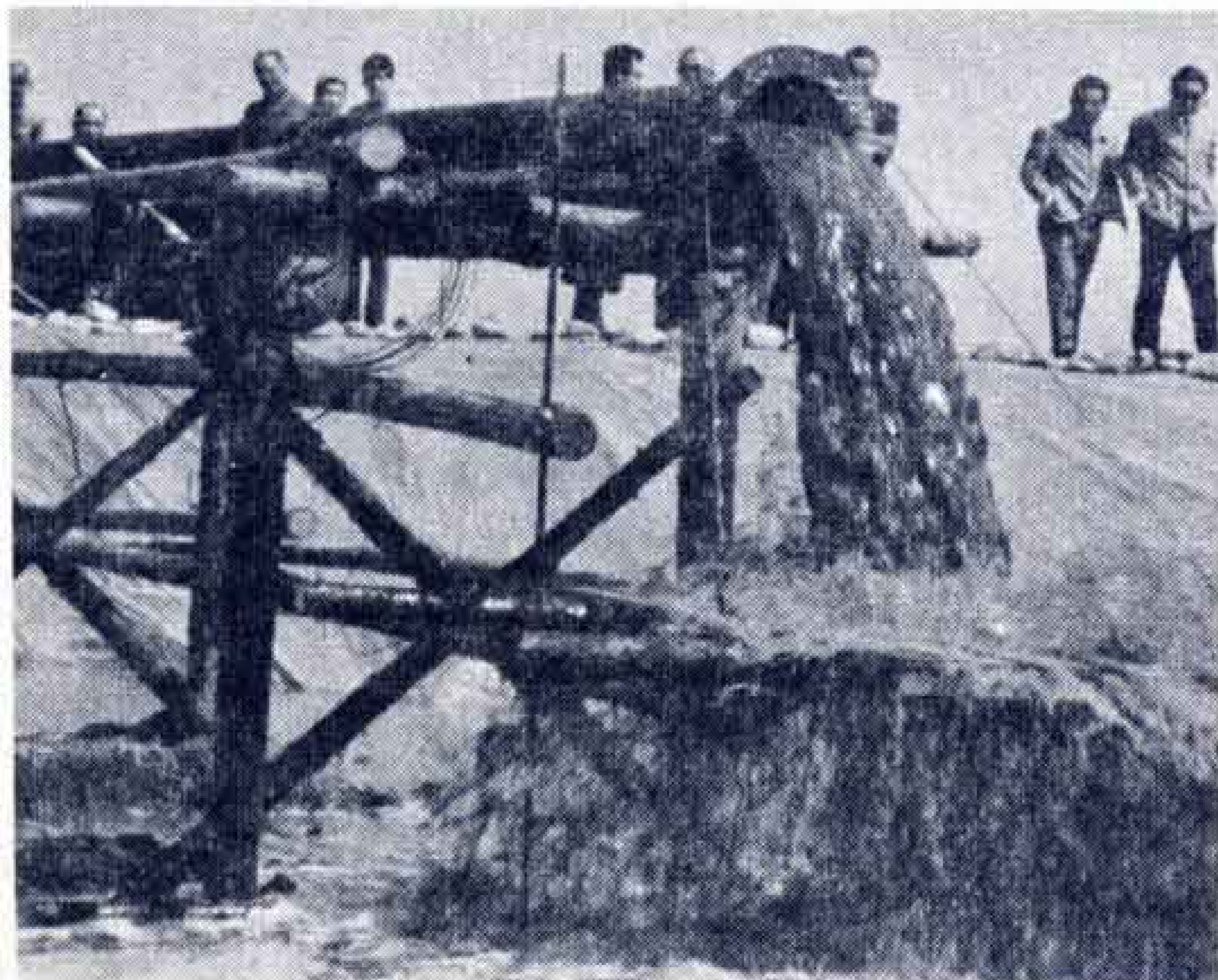
たい積した汚泥は、港内の底質を著しく悪化させ夏場には硫化水素ガスなどが発生し、環境汚染をもたらす原因となっています。また、汚泥の中に含まれる汚染物質にはPCBなどの有害物質も存在し、駿河湾海域の汚染にもなりますのでこれを防止するため速やかに、たい積汚泥のしゅんせつを実施し、一定の場所に封じ込め、環境汚染を防止する必要があります。

ヘドロ処理事業再開 計画

これまで実施した汚泥処理事業は富士川河川敷を利用して大きな脱水場をつくり、海岸線にパイプを敷設し、ポンプ船でしゅんせつした汚泥を、脱水場に流送し薬剤などを加えて自然脱水した後、土砂と混合して埋立てました。

5回目の汚泥処理事業を再開する

【前回まで行われたパイプ流送によるしゅんせつ】



にあたり、事前に港内にたい積している汚泥の量や質、硫化水素ガスの発生状況などについて、県は昨年8月から9月にかけて富士市、業界などの技術者立会いのもとに事前調査を行いました。

その結果、汚泥のたい積量は約51万立方メートルと確認され、汚泥処理事業の再開について技術的な検討が重ねられていました。たい積汚泥のなかにはPCB平均28.5PPM、カドミ1.56PPM、総水銀0.54PPMが検出されましたが、カドミ及び総水銀については、自然界の土壌中に含まれているものと比較しても問題になる濃度ではありませんでした。

またガスの発生状況調査でも水面上で硫化水素ガス0PPM～10PPM程度と昭和46年当時と比べて生活環境への影響は格段と改善されました。しかし、このまま放置するとたい積量の進行につれて環境を汚染する恐れが生じますので、公害を未然に防止するため、しゅんせつ事業を再開する必要性が生じた訳であります。

発生源別のたい積量

産業活動分	267.073立方メートル
大沢崩土砂分	154.086立方メートル
家庭下水分	32.476立方メートル
自然流下分	17.349立方メートル
その他	42.741立方メートル
合計	513.725立方メートル

このうち、産業活動分の51.99％は、発生原因者負担の原則にもとづき企業がその費用を負担すること

になります。

汚泥処理工法は…

港内にたい積している汚泥処理事業計画によると、昭和51年度の処理量15万立方メートルは港湾施設の中に埋立て、残量の36万立方メートルは、引続き処理することとしています。

今回の汚泥処理工法は、第3次処理までに研究実施してきた経験をもとに、県では専門研究部会を設けて専門家による検討を重ねてきました。その結果、港底にたい積している汚泥をしゅんせつ船で港内の台船に積込み、添加剤を加え公害防止処理をします。

ヘドロ1立方メートルに対し、セメント15袋、焼却灰5袋、石膏6袋の配合割合でミルク状にしてヘドロに混入し台船内で機械により混合します。混合したヘドロは、台船内で24時間放置し脱水化の状態にしたものを埋立処分地に運搬し埋込みます。

埋立処分地は、依田橋寄りの水面貯木場の一部16.370平方メートル及び、鈴川寄りの水面貯木場17.730平方メートルに埋込み、上部に1メートルの覆土をして陸上貯木場として利用する計画です。

二次公害発生防止対策も

しゅんせつの際には、その区域をシートで囲い海域と遮断した中でしゅんせつを行い、周辺の海水への汚染を防止します。また、硫化水素などのガス発生については、ガス発生量の少ない冬場を中心とした期間にしゅんせつを行い、工事中には薬剤を散布して完全に除去します。

監視方法は、港の周辺に水質・大気の監視所を設けて常時監視を行います。また混合汚泥に含まれている

(次ページへつづく)

PCBなどは、溶出試験の結果をみてもPCBなどの有害物質は検出されませんので問題はありません。

埋立後の汚泥はセメントなどの添加剤により固化するため、処理した汚泥の埋立後は二次公害の発生はまずないものと考えられます。

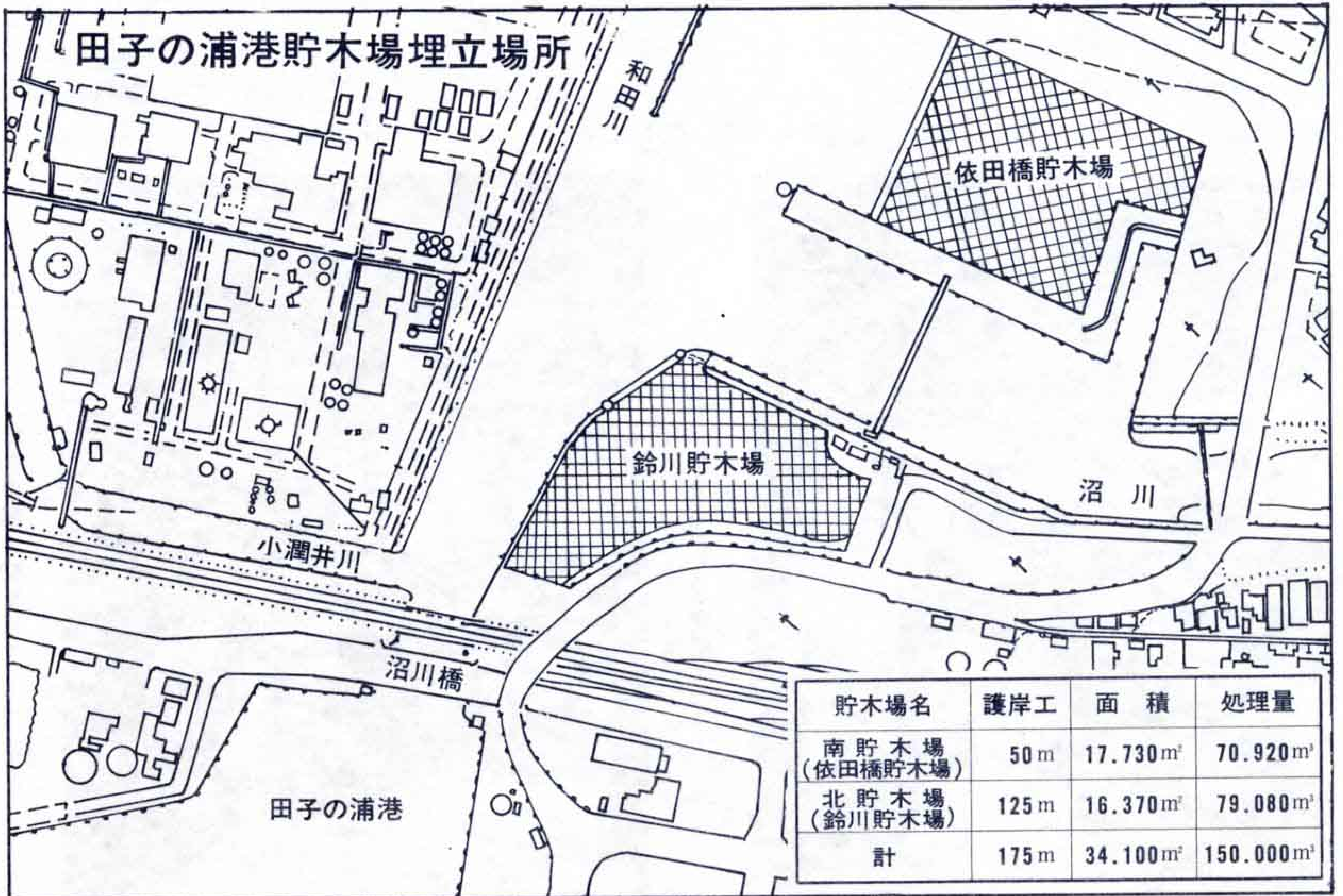
今後の恒久対策

田子の浦港に流れ込む汚水が現状

のままでは、再び同じような問題の発生が考えられます。そこで、現在規制されている工場排水の基準を更に厳しくして工場排水が原因で田子の浦港に堆積する年間約7万立方メートルの汚泥を2万立方メートルまで削減する計画が進められており、この程度の堆積汚泥は、県が行う通常の維持しゅんせつで処理できるので今後、再び問題が起らないよう配慮されていま

す。

なお、市はこの事業の再開計画をうけていち早く田子浦港汚泥処理対策班を編成し、慎重に検討を加えてまいりました。その結果、県に全面的に協力する立場で今後地元の依田橋及び鈴川の各町内にこの事業計画の説明会を開催するなど、地元の方のご理解とご協力をお願いしてまいります。



おべんとうをもって楽しい遠足

おとしよりだけの「厚原歩こう友の会」

おとしよりだけで、元気に毎月歩く会をつづけているグループがあります。老人だからといって家にこもってばかりいないで、みなさんもグループをつくってやってみませんか

このグループは、「厚原歩こう友の会」といって厚原西と厚原中に住む60才以上のおとしよりばかりでつくっている会員30人のグループです。毎月1日と15日の2回、約4廻程度のコースを選んで野山を歩いていま

す。グループを結成したのが3年前。

会長の平井しづさんが提案してはじめたもので、最初のうちは5人位のグループでしたが、健康づくりと親ほくをかねた歩く会を見て、次第に参加者が増え今では若い人達もときどき参加するそうです。

歩いたあと、野山でおにぎりを食べながら世間

話に花を咲かせるのが何よりの楽しみとか。次の会が待ちどおしいと会員のみなさんは張り切っています。

【楽しそうなおとしよりの遠足】



9月27日に待望の営業開始

＝公設地方卸売市場＝

初せりは水産物30トン、青果物260トン

市内田島に建設した富士市公設地方卸売市場が、9月18日の開場式に続いて、9月27日に待望の営業を開始しました。

初せりは水産部が午前7時から、青果部が午前7時30分からそれぞれ

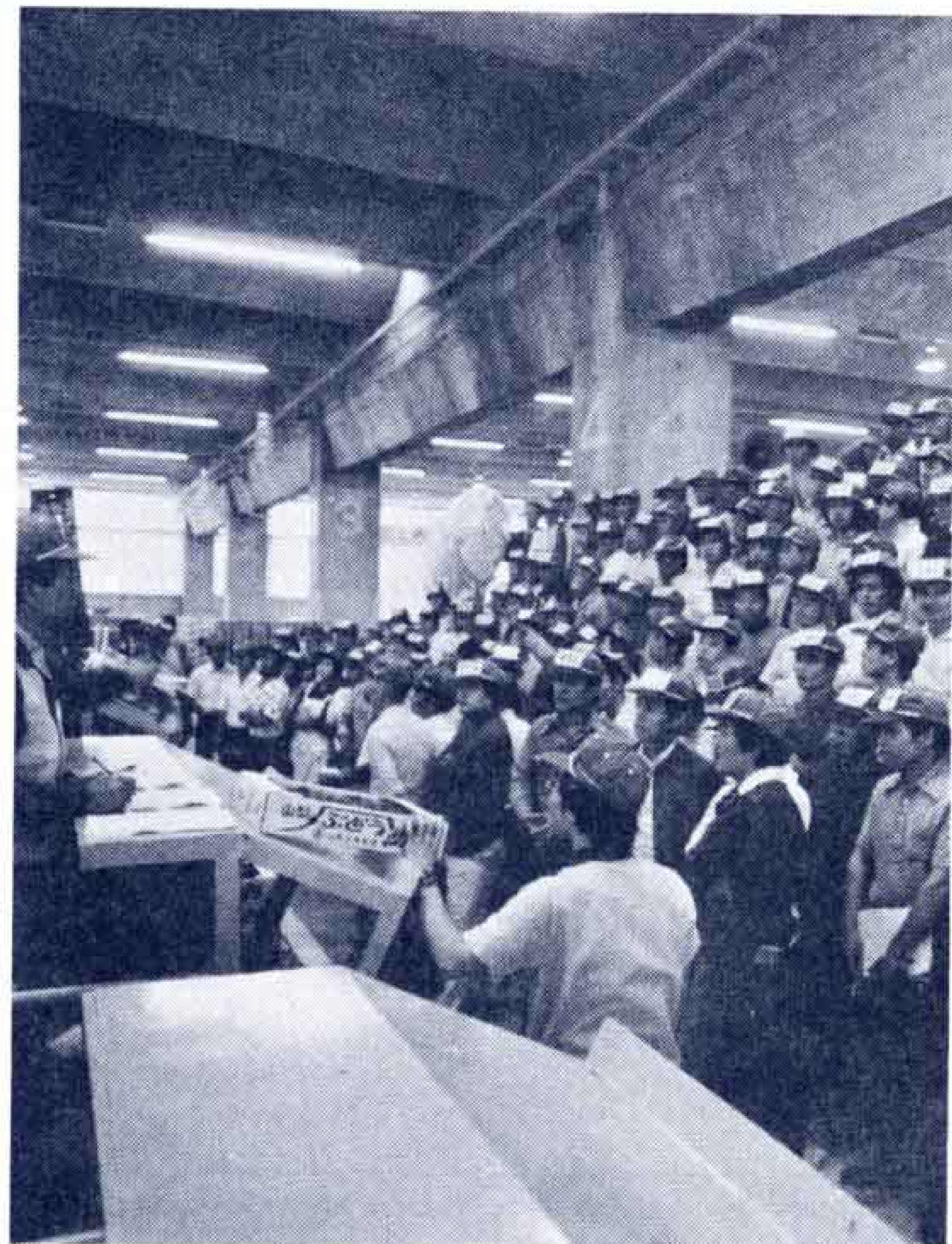
行われ、初日の扱高は水産物が約30トン（1500万円）、青果物が260トン（2300万円）と予想を上回る取引で、まずまずの幸先よいスタートでした。

この市場は、県下ではじめての公

設地方卸売市場で、岳南地区における生鮮食料品流通の拠点として、関係地域の住民福祉と生活の安定に寄与できるようその使命と責任を果たすとともに今後の大きな飛躍発展が期待されています。



【大物もずらりそろった水産部】



【にぎやかに青果部の初せり】

市場の概要

名称	富士市公設地方卸売市場
所在地	富士市田島100番地
面積	66.236平方メートル
流通圏人口	404,000人（昭和55年目標）
建設費	約34億円（用地取得費含む）
卸売業者	青果部 1社 水産物部 1社
仲卸業者	青果部 5社 水産物部 4社
買受人	約600人
付属営業人	第1種店舗 22店 第2種店舗 4店

施設の概要

施設名		面積	構造
卸売場	青果	4.140㎡	鉄筋コンクリート造り
	水産	1.620	〃
仲卸売場		1.896	〃
買荷保管積込所		880	〃
付属店舗棟		936	〃
業者事務所		2.508	〃
管理事務所		492	〃
守衛所		81	〃
倉庫		300	鉄骨造り
冷蔵庫		1.257	鉄筋コンクリート造り
浄化槽		474	〃
その他施設		549	
駐車場		22.589	アスファルト舗装

ワラワふじ

ねらいは正確

第9回富士市身体障害者スポーツ大会が、9月26日伝法小学校のグラウンドで選手約150人が参加して行われ、車椅子競走やカンころがしなどで楽しい1日を過しました。結果は次のとおり。◇優勝 富士支部。◇2位 鷹岡支部。◇3位 根方支部。◇4位 吉原支部



【車椅子に乗って槍の正確投げ競技】

働く仲間たちの文化祭

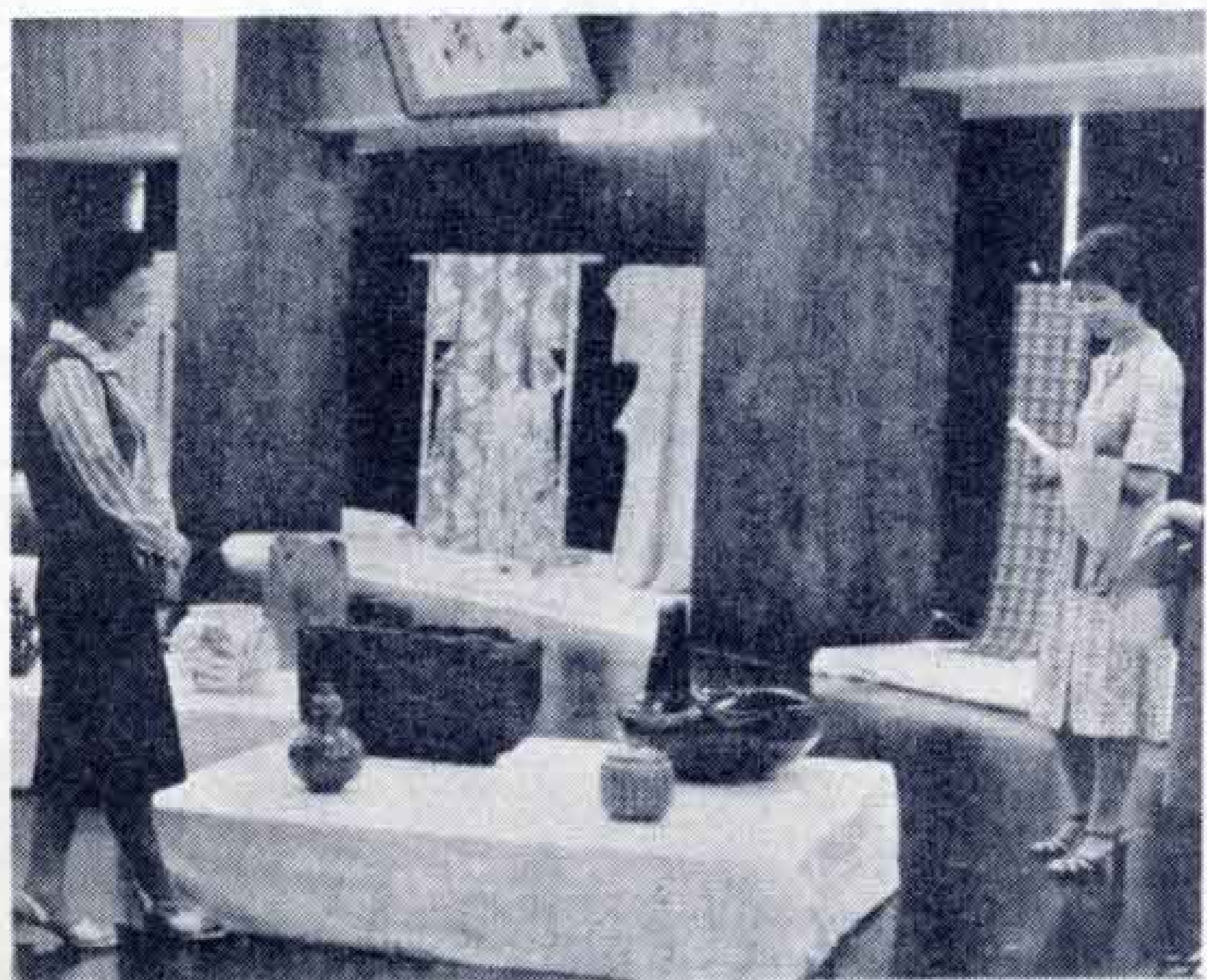
勤労青少年会館の文化祭が、9月25日、26日の2日間、開かれました。この文化祭は、会館を利用する働く青少年がお互いに親しみ、日頃の成果を発表し合うもので、会場にはフラワーデザインや絵画など約50点が展示され、ダンスパーティーやお茶会なども行われてにぎわいました。



【働く若者でにぎわう展示会場】

力作ぞろいの工芸美術展

美術の秋にふさわしい県工芸美術展が、9月23日から3日間、富士文化センターで開かれました。会場には、県工芸家協会会員の力作や公募により選ばれた作品80点が飾られ、染色や木工品、陶芸品などどれも見事な作品ぞろいで、見学者の目を楽しませてくれました。



【落ち着いたふんいきの工芸美術展会場】

遺族会の「老父母に感謝する集い」

富士市慰族会の「老父母に感謝する集い」が9月28日、社会福祉センターで開かれました。戦争で肉親を亡くし、失意を乗り越えて今日まで31年間、苦勞されてきた老父母に感謝しようというもので、国のために尊い一命を捧げられた霊に黙禱を捧げたあと、約60人の参加者は懇親会を行いました。



【永い間ごくろうさま】



3つのはな



須津小学校1年
ますだてつろう



ぼくのおかあさんは、くるまをうんでんしています。ときどき、「きょうはこどもがとびだしてきて、こわかったよ」と、はなしています。

だからぼくが、がっこうにいくときや、おつかいにいくとき、いつも、「くるまにきをつけてね」「とびだすんじゃないよ」「右がわをあるくんだよ」と、なんかいもなんかいもうるさくいます。

おにいちゃんがようちえんのとき、みちにとびだしてこうつうじこをおこし、かおじゅうきずだらけになって、おかあさんもおとうさんもしん

ぱいしたことを、おかあさんがはなしてくれました。

ぼくは、おにいちゃんのようにみちにとびださないように、おうだんほどうをわたるようになっています。おみせやさんのすぐまえに、おうだんほどうがないとき、おうだんほどうのところまでいってわたっています。

がっこうでおしえてもらったように、手をあげて、右みて左みてもういちど右をみてわたっています。

ぼくが手をあげていても、とまってくれないくるまがあります。おとなのひとは、めんどくさいといってやたらにわたっていきます。ぼくのおかあさんも、ときどきぼくにちゅういされて、「ごめんねー」といっ

てわたります。

テレビでこうつうじこのはなしが

でると、おとうさんもおかあさんも、「こわいねー」「てっちゃん、きをつけてね。おにいちゃんだけでもうたください」とぼくにいいます。



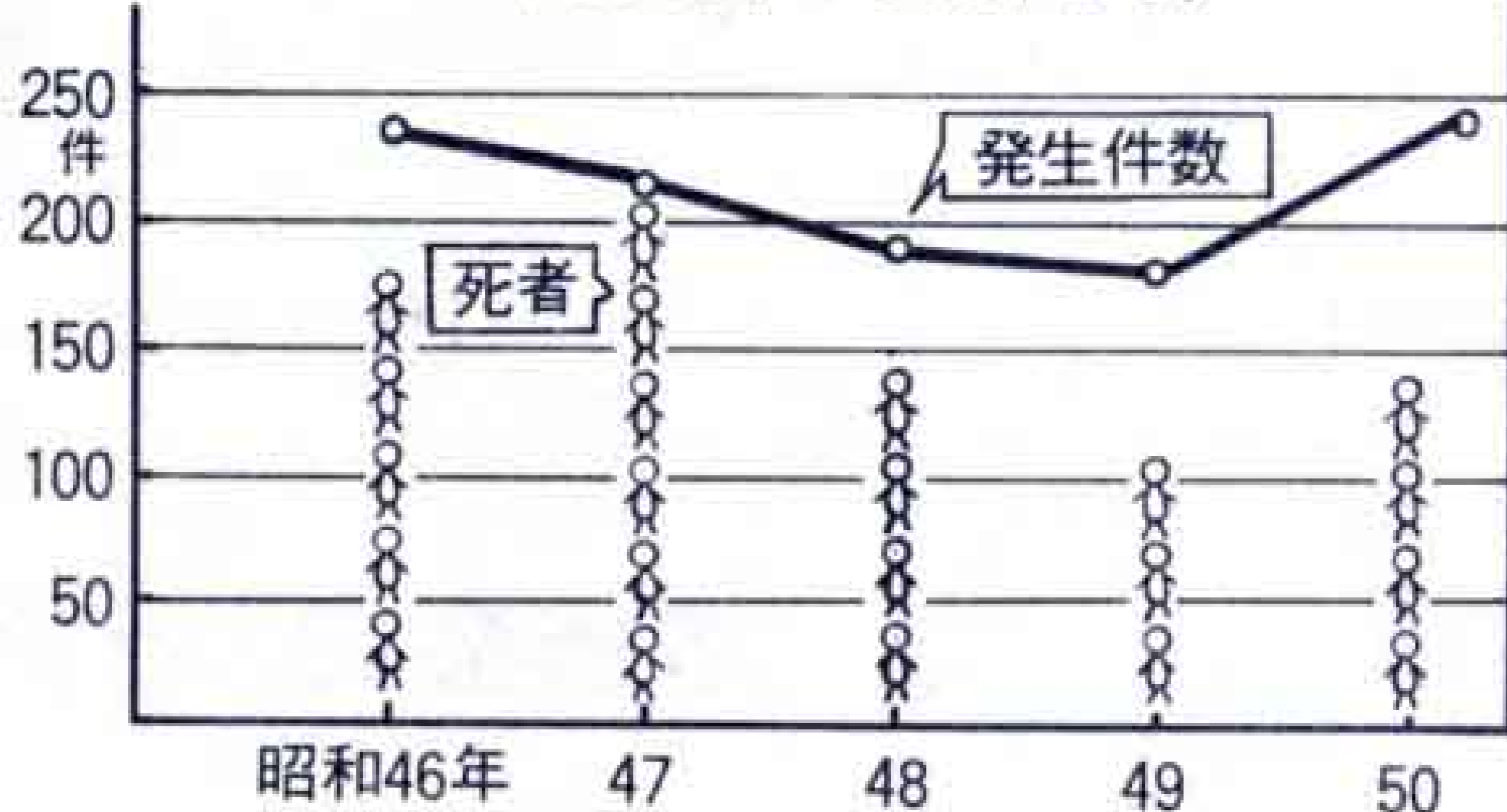
ぼくのうちのげんかんのどあに、がっこうからもらってきた、こうつうあんぜん3つのちかいのかみがはってあります。あさがっこうへいくとき、ときどきよみます。

- どうろで あそびません
- どうろに とびだしません
- くるまのすぐまえやうしろはおうだんしません

この3つのことを、ぼくは、しっかりまもります。

こどもの交通事故

(昭和46年から50年まで)



きみの血液はど型

もしも、みんなが交通事故にあったり、大きな手術をしたりするとき、たくさんの新しい血が必要ですね。きみはなに型？血液型はふだんからおぼえておきましょうね。輸血につかう血は、愛の血液助けあい運動として、元気なおとなの人達が協力してくれます。いつも、この運動に協力してくれる人に今年も感謝状がおくられました。



体温のはかり方

子どもの体温は、おとなよりもすこし高いのがふつうです。小学生くらいでは、午後になると37度をこえる子どももあります。体温は、それぞれ子どもによつてちがいます。けれども、37度5分をこえる熱がたら、なにか病気が原因かもしれませ

自分の、ふだんの体温を知っていますか。健康なときの体温を調べておくと、病気の発見に役立ちます。体温のはかり方には、わきの下、口の中、肛門と、3つの方法がありますが、たいいていわきの下ではかります。正しいはかり方は、まず、体温計が35度以下に下がっているのをたしかめます。そして、体温計をわきの下のまん中よりすこし前かけんに入れ、うでで、わきの下をびつたりとします。